

「京都大学環境報告書2006」 発行記念シンポジウム

～「脱温暖化宣言」に向けて～

基調講演「脱温暖化に向けたバイオマス利活用の展望」
池上 詢 福井工業大学教授(京都大学名誉教授)

日時 2007年1月31日(水) 13:45~17:00

場所 京都大学百周年時計台記念館1階 百周年記念ホール

定員 500名

参加費
無料

PROGRAM

13:45~14:00 感謝セレモニー

14:00~14:20 開会の挨拶

- ・尾池 和夫 京都大学総長
- ・上原 任 京都市副市長

14:20~14:55 【第一部】こう読む「京都大学環境報告書2006」

15:00~17:00 【第二部】脱温暖化に向けたバイオマス利活用に向けて

基調講演 池上 詢 脱温暖化に向けたバイオマス利活用の展望

パネルディスカッション ・酒井 伸一 京都大学環境保全センター教授

- ・木下 卓 農林水産省大臣官房環境政策課環境企画官
- ・中村 一夫 京都市環境局施設整備課兼職循環企画課長
- ・今西 恒子 聖護院ごみ減量推進会議
- ・堀籠 聡 オムロン株式会社経営総務室品質・環境部主事
- ・平 信行 京都大学生協専務理事
- ・藤原 彬 京都大学施設・環境部環境安全課長

17:00 閉会の挨拶

京都大学環境報告書2006、シンポジウム講演内容等詳細は、下記URLにてご覧下さい。
環境報告書2006ホームページ(京都大学HP > 大学の紹介 > 環境への取組 > 環境報告書2006)

URL: <http://www.kyoto-u.ac.jp/kankyo/report.html>

参加申し込み

どなたでも自由に参加できます。参加希望の方は1月25日(木)までにメール等によりご連絡下さい。
なお、当日飛び込み参加も歓迎致します。

お問い合わせ

京都大学施設・環境部環境安全課環境計画グループ

TEL:075-753-2383 (FAX:2355) E-mail:kankyo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp